



力をあわせて自立することが 元気の源

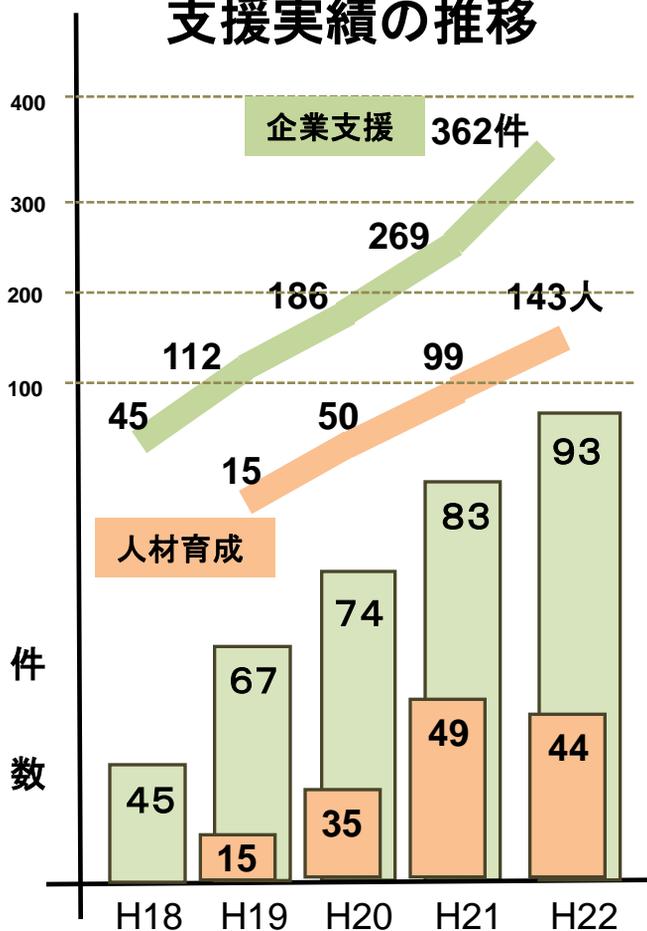
リーマンショック以降大きく落ち込んだ景気がやや持ち直した矢先、3月11日に東日本で発生した大震災による大津波・原発事故が発生。日本全体の生産、物流から消費まで経済活動が大きな影響を受け、生産活動の休止や従業員の出勤停止など、中小企業の先行きは不透明な状態です。しかし、いつまでも持ちの姿勢では何も解決しません。今、求められるのは何でしょうか？

自分の身に災害や受注の停止が降りかかった時、即座に対応できる態勢を築くことが重要です。

1. 生産の激減を受け費用の持ち出しを抑制し、損益分岐点を下げる革新的な取り組み。
2. 社会変化に強く操業を維持できる3つの事業群を持つ。（3つ柱）
3. 上記を可能にするのは人です。
日頃から教育・訓練・実践で強化。

以上について、真剣に取り組んでみてください。センターではそれぞれの企業に応じたアドバイスをさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

支援実績の推移



◇ 活動事例紹介

年度 平成 22 年
企業 (株)オーテック鈴鹿
業種 2輪アセサリー製造
支援 羽地SA

テーマ：旋盤・加工技術の指導

背景：オートバイ部品加工製造と生産補助治具，修理などを自社技術で対応できるようにしたい

目標：若手従業員（3名）に旋盤加工技術をマスターさせる

期間：2010年4月～10月

内容：・機械設備の機能，操作，訓練
・軸物加工
・ネジ切り加工
・切削条件の選定
・刃具（ドリル，バイト，超硬，ハイス…）研磨

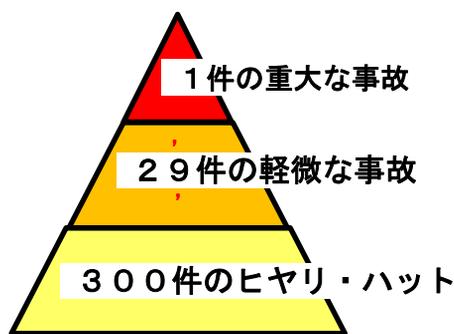
活動：若手従業員一人ひとりに基礎から応用まで，1STEPご
ポイントと確実に技術指導。

社長：若手従業員に基本的な技術と操作面，安全面も含めて教え
コメント：ていただき，さらに応用まで指導いただきました。次段階として，より深い内容も相談したいと思います。



◇ 用語解説 「ハインリッヒの法則」

生産活動現場では一定のサイクルとリズムがあります。人間はあるリズムになれると小さな異常の兆候を見逃しがちです。大きな事故の前には必ず小さなヒヤリ・ハットがあると教えています。事故が発生する前のヒヤリ・ハット段階を対策をすることが重要です。



- 1) 初動行為・受けとめ方・対処の仕方が大切
・ヒューマンエラーは防げない
・形あるものは必ず変化する
- 2) 日常業務としての制度化と定着
・異常の打ち上げルートを確立する
・暫定対策/恒久対策を提示する
・治検具/生産設備装置/工場内外環境等を対象に始業/終業点検定期点検の実施と進捗確認。

**ヒヤリ・ハットを活かし対策をすることで、
リスクを軽減できます。**

◇ おしらせ ものづくりの研究開発事業補助の募集中！

- ◆内容 産学官の連携による研究開発の強化と市内の製造業の活性化を図るため，新商品や新技術の研究開発に要する経費の一部を補助します
 - ◆対象 市内に本社または主たる事業所がある事業者の新商品や新技術の研究開発で，大学や高専などの高等教育機関と共同で行う事業や指導を受けて行う事業
 - ◆補助額 補助対象経費の2分の1以内（50万円以上250万円以内）
 - ◆申込期日 6月17日（金）必着
ものづくり産業支援センターに提出ください。
- ※ 鈴鹿市ものづくり研究開発事業審査委員会で内容を審査のうえ，決定します。

申請したいが，申請書の記載方法や表現がわからない！！ こんなことでお困りの企業さま！

アドバイザーがお手伝いをいたします。

お気軽にご相談ください。

【発行】

鈴鹿市 産業振興部産業政策課ものづくり産業支援センター
〒513-8701

鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三)

TEL 059-382-7011 FAX 059-384-0868E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp